

幸手市地域福祉計画推進委員会会議における委員からの意見(要旨)

会議名称	幸手市地域福祉計画推進委員会会議
開催日時	令和2年7月1日(水) 午後2時00分～午後3時10分
開催場所	幸手市保健福祉総合センター 2階 第1会議室
出席者 ※委員長◎	◎瀬川裕史、倉持昭夫、秋谷清、上村京子、遠藤年、新井英子、出井保信、森久子 小林健康福祉部長、小池介護福祉課長、中野こども支援課長、堀健康増進課主査 【事務局 社会福祉課】新島課長、遠藤主幹、金子主任

- (1) 新型コロナウイルスに関してはスピードが大事だと思う。しっかりやってほしい。
- (2) 基本目標Ⅱ施策②(3)「生涯学習・スポーツ活動の推進」にある「さくらマラソン大会事業」について、令和2年度の事業目標として「新型コロナウイルス感染防止のため中止」と記載があるが、実施していないのにA評価というのは不思議な気がする。
- (3) 基本目標Ⅱ施策③(5)「不登校児童・生徒などへの支援」にある「児童・生徒への教育相談事業」の令和2年度事業目標は、数字の記載は誤りではないか。
- (4) 基本目標「地域福祉の基盤づくり」、施策「身近な相談・支援の推進」についても新型コロナウイルスの懸念があるので、支援の方法を十分検討して実施していただければありがたい。
- (5) 独居高齢者等については不安に思うところがある。新型コロナウイルスが不安で、なおさら外界との接触が難しくなることが懸念される。是非、行政の方からしっかりサポートしていただきたい。
- (6) 保育所の運営は、新型コロナウイルスの関係で、大変なことが多いと思うが、例年どおり実施できそうか。
- (7) 新型コロナウイルスの蔓延が懸念される状況で、昨年のような災害が起こったときに備え、感染対策も含めた体制は出来上がっているのか。出来上がっているなら市民へ広報していただきたい。
- (8) 昨年の災害のときは、かなり不安を感じる場面があったが、今年は更にハードルが高くなっている。市民の安全を確保できる体制づくりをしていただきたい。
- (9) 基本目標Ⅳ施策②(2)「交通支援の充実」にある「デマンド交通運行事業」は、事務局評価案がDとなっているが、それでよいのか。

- (10) 基本目標Ⅳ施策②(2)「ユニバーサルデザインの街づくりの推進」にある「学校トイレのバリアフリー化」は、洋式トイレへの改修ということだと思うが、あとどれくらいの学校が未改修なのか。
- (11) 避難所として体育館を使うと思うが、体育館の外のトイレは、まだ洋式化していないのではないかと。高齢者等の利用に備え、洋式化したほうがよいのではないかと。学校のトイレの改修が済んでいないという事情もあると思うが、早めに動いていただきたい。
- (12) 学校に災害用トイレは設置されているのか。他市では、学校にマンホールが10個ほど並んでいて、災害時にはその上にトイレの形を組み立てて作るという想定がされている所もあるが、幸手市はどうか。おそらく、災害時には水が出なくなる等の理由で、施設内のトイレは使えなくなると思う。トイレをバリアフリー化するに当たって、非常時も想定して検討したのか、これから検討するのか、あるいは全く検討していないのか、考えていただきたい。排泄は人間にとってとても重要な問題。トイレに行きづらいために、排泄を我慢して血栓症を起こすといった事態が起こるほど、トイレは非常に大事なインフラである。バリアフリー化も大事だが、災害時にも使えるようにするという観点からも併せて考えてほしい。
- (13) 妊婦さんは健常者扱いされることが多いが、実際には要介護4から5に当たる。そういった認識を行政が持った上で、妊婦さんのプライバシーや小さな子どもたちの避難に配慮した考え方をまとめ、安心して避難できる体制づくりをしていただきたい。

以上